

令和3年度 弘前大学教員免許状更新講習 開設講習一覧

- 必修領域は、全教員（教諭、養護教諭、栄養教諭）を対象とする講習です。
- 選択必修領域、選択領域は、「対象職種」が『全教員』、『教諭』、『養護教諭』、『栄養教諭』に分かれる講習があります。ご自身の対象となる講習を受講してください。
- 選択領域の、「教科」、「主な受講対象者」欄は、講習の内容をより明確にお伝えするためのものです。学校種や担当教科が異なっても受講できます。
- 講習料は、講習時間数が6時間の講習は6,000円、12時間の講習は12,000円になります。
- 今回の更新にあたり、同一名の講習を受講した場合（令和2年度分も含む）は、1講習としての取扱いとなるため、履修認定されません。申込みの際には講習名・講習内容を十分ご確認ください。

夏季講習

【必修領域】 「全ての受講者が受講する領域」

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	受講人数
A01	教育の新動向	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む。）」「子どもの生活の変化をふまえた課題」の4つの事項についての理解を深めることを目指す。 ※本講習はオンデマンド型となります。	桐村 豪文(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 吉崎 聡子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 助教)	オンデマンド	令和3年7月5日 ～8月31日	6時間	全教員	200人

【選択必修領域】 「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
B01	教育課程・学校経営	「学習指導要領の改訂の動向等」および「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の事項について、各校種や教科の教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 ※本講習はオンデマンド型となります。	森本 洋介(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 三上 雅生(青森中央学院大学 教授)	オンデマンド	令和3年7月5日 ～8月31日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	100人
B02	キャリア教育の理論と実践	現代の雇用情勢や若者の職業意識を踏まえながら、学校現場で求められている進路指導やキャリア教育のあり方について理解を深める。また、具体的な教育方法や援助についての知識やスキルについても習得することを目指す。 ※本講習はオンデマンド型となります。	吉中 淳(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 吉崎 聡子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 助教)	オンデマンド	令和3年7月5日 ～8月31日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	100人
B03	教育課程・学校経営 (幼稚園教諭向け)	「学習指導要領の改訂の動向等」および「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の事項について、各校種や教科の教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 ※本講習はオンデマンド型となります。	武内 裕明(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 石戸谷 繁(柴田学園大学 特任教授)	オンデマンド	令和3年7月5日 ～8月31日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園教諭	100人
B11	理論と実践から考える小学校の英語授業	小学校における外国語活動および外国語科について、以下に示す通り理論と実践の両面から考察します。 理論編 外国語教育における指導法の種類と特徴の概観(文法訳読法・オーディオリンガルメソッド・コミュニケーションランゲージティーチングなど) 実践編 Small Talkをやってみよう！:ALTとの連携を通して 新教材の導入を英語でやってみよう！:オーラルイントロダクションに挑戦	佐藤 剛(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年7月24日	6時間	教諭	小学校教諭	50人
B12	ICTによる英語教育	英語の授業に活用できるICT(情報通信技術)の様々な事例を取り上げ、それを実際の授業に取り入れる方法を具体的に検討する。特に、インターネット上に公開されているリソースやオープンソース・ソフトウェアなど、特殊な機材やライセンス料を必要としないものを中心に取り上げる。	内海 淳(教育研究院人文社会・教育学系人文科学領域 准教授)	弘前市	令和3年8月18日	6時間	教諭	小学校・中学校・高等学校英語科教諭	30人

【選択領域】 「受講者が任意に選択して受講する領域」

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C18	国語	日本語のなかの漢字	日本語が現在のように出来上がってくるまでには紆余曲折ありました。そのプロセスにおいて、中国からやってきた「漢字」が日本語に与えた影響は甚大です。この講習では、日本語における漢字の位置と意味について、噛んで含めるように丁寧に丁寧に解説いたします。小学生に漢字を教えることの難しさに悩んでいる先生の参考になるような講習にしたいとおもっています。	山田 史生(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年7月25日	6時間	教諭	小学校教諭、 中高国語科教諭	100人
C27	国語	文学教育のこれから	国語科教育の動向を踏まえながら、これからの文学教育のありかたについて考えていくために必要な知識や技能について学ぶ。また教科書の教材を実際に用いながら、講義・演習を通して理解を深めていく。	鈴木 愛理(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年7月31日	6時間	教諭	小学校教諭・ 中学校国語科教諭	40人
C04	社会・地歴・公民・商業	イノベーションのマネジメント	企業が現在の激しい経済社会の環境変化に適応し長期的に維持発展していくための中核に位置付けられるものが、従来の枠組みを刷新し、画期的な事業アイデアにより新しい製品を生み出すイノベーションの創造です。イノベーションが求められる背景を理解するとともに、技術経営で重要なポイントやモデルの考え方を解説します。 (Microsoft Teamsによる同時双方向型授業)	熊田 憲(教育研究院人文社会・教育学系人文科学領域 准教授)	オンライン	令和3年7月10日	6時間	教諭	中学校・ 高等学校社会科教諭	50人
C54	社会・地歴・公民・商業	青森りんごの歴史と経済	農業は、農産物を作る営みであるだけでなく、農産物をお金に換える営みでもあります。人々の生活を豊かにするだけでなく、農家の生活を維持する営みです。青森県において生産される主要な農産物であるりんごを題材に、その歴史、生産、流通、加工、消費、貿易等の各側面について、経済的な視点から学びます。	成田 拓未(教育研究院自然科学系農学・生命科学領域 准教授)	弘前市	令和3年8月23日	6時間	教諭	全教諭	10人
C55	C55 津軽地域における防災教育 開講中止		2022年4月から全国の高校で実施される「地理総合」では、地理情報システムや防災教育が重視されている。本講義は、国土地理院の地理院地や地理情報システム(GIS)の体験、弘前周辺の野外調査を行いな地域の自然環境を考慮した防災教育を考えるものである。本講義は、小学校・中学校の「総合的な学習の時間」の教材作りの基礎資料となつてくれると思われる。	小岩 直人(教育研究院教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年8月29日	6時間	教諭	高校地歴科教諭、 中学校社会科教諭、 および小学校教諭	25人
C03	算数・数学・情報	折り紙の平坦折り	折り紙は日本の伝統的な遊びで、海外でも「Origami」として知られています。この折り紙を科学的に研究するという動きはごく最近のことで、計算幾何学といった分野において、研究対象の一つとなっています。本講習では、風車のように折り紙を折って平坦に折りたたくことができるための条件などを学びます。(ハサミ・定規・分度器をご用意ください) ※本講習はオンデマンド型となります。	江居 宏美(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 准教授)	オンデマンド	令和3年7月5日 ～8月31日	6時間	教諭	中学・ 高等学校数学教諭	50人
C25	算数・数学・情報	Pythonで学ぶ確率・統計	Googleが提供する機械学習・データ解析環境であるGoogle Colab上でPythonによるプログラミングを扱います。題材は高校数学で学ぶ確率・統計の問題です。関数のプロットや数列のプログラミングから始め、確率・統計で学ぶ内容を扱います。Pythonを用いて数学の問題を解いてみるなど、数学の授業の参考になればと思います。試験の方法として「実技考査」としていますが、これはデータ解析の試験という意味です。受講にはGoogleアカウントが必要です。	守 真太郎(教育研究院安全システム工学領域 教授)	弘前市	令和3年7月31日	6時間	教諭	中学校・高等学校教諭 (数学)	30人
C38	算数・数学・情報	算数・数学的活動とその体験	算数的活動・数学的活動の意義を検討し、小学校算数、中学校数学で扱う教材を中心にその背景について学ぶとともに、活動を取り入れた授業のあり方について考えることをねらいとします。特に、問題解決型の授業を想定し比較検討場面の充実に焦点をあてます。	中野 博之(教育研究院教育・芸術領域教授) 田中 義久(教育研究院教育・芸術領域准教授)	青森市	令和3年8月10日	6時間	教諭	小学校教諭・ 中学校数学教諭	40人
C16	理科	化学実験(中学校・高等学校)	本講習では中学校理科もしくは高等学校化学(一部物理と生物)で扱われる「光」や「色」に関連した実験を行い、物質の性質を科学的に理解することを目的とする。pHと指示薬の色、炎色反応、めっきなどを予定している。	島田 透(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年7月18日	6時間	教諭	中学校・ 高等学校理科教諭 および 特別支援学校教諭	16人
C19	理科	思考を導く理科教育	具体的な教材をとおして、理科教育の方法と理論をベースに、児童・生徒を思考させるという観点から講義を展開する。前半では環境教育に関する理論と教材の紹介を行い、演習をとおして児童・生徒の思考について考える。後半はそれに引き続くとともに、教科や科目を融合した教材を取り扱い、それについての思考を考える。	佐藤 崇之(教育研究院人文・社会学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年7月25日	6時間	教諭	小学校教諭、 中学校・高等学校 理科教諭	30人
C23	理科	気候科学と地球温暖化	地球温暖化は21世紀の最も深刻な環境問題です。人間活動による二酸化炭素などの温室効果ガス排出が気候に影響を及ぼすようになり、産業革命以降、地球平均気温にはすでに1度の上昇が起きました。気候科学の基礎的知識を気候変動に関する政府間パネルによる国連報告書の要約(和訳)を読んで理解すること、さらに、地球温暖化の影響と対策について理解することを目指します。	野尻 幸宏(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 教授)	弘前市	令和3年7月30日	6時間	教諭	小学校教諭、中学校・ 高等学校理科教諭	50人
C31	理科	アクティブ・ラーニングに向けたマイクロスケール実験ー粒子分野(化学)の実験を中心に②	学習指導要領で導入される「アクティブ・ラーニング」への活用も期待され、特別支援教育でも注目の「マイクロスケール実験」について、その概念と具体的な方法について実験を通して考える。小学校理科からは「だ液の性質」や簡単なプログラミング教育を、中学校や高等学校では、放射線教育や物質の分離方法や金属陽イオンの分析を中心に、実験を通して指導法を考える。	長南 幸安(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	八戸市	令和3年8月2日	6時間	教諭	特別支援学校教諭、 小学校教諭、中学校・ 高等学校理科教諭	30人
C34	理科	顕微鏡観察の基礎と応用	生物学や理科の実験観察に顕微鏡は欠かせない。本講習では、光学顕微鏡の原理を理解し、その操作に習熟することをめざして、顕微鏡を用いた実習を行う。また応用として、身近にある食材などの動植物細胞の観察、暗視野顕微鏡によるブラウン運動や原形質流動の観察、池のプランクトンの観察と分類などを行う。	岩井 草介(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年8月3日	6時間	教諭	中学校・ 高等学校理科教諭	12人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C37	理科	アクティブ・ラーニングに向けたマイクロスケール実験－粒子分野(化学)の実験を中心に①	学習指導要領で導入される「アクティブ・ラーニング」への活用も期待され、特別支援教育でも注目の「マイクロスケール実験」について、その概念と具体的な方法について実験を通して考える。小学校理科の新学習指導要領・粒子分野(化学)の中からは第6学年「水溶液の性質」と簡単なプログラミング、中学校や高等学校では、電池や電気分解を中心に、実験を通して指導法を考える。	長南 幸安(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	むつ市	令和3年8月9日	6時間	教諭	特別支援学校教諭、小学校教諭、中学校・高等学校理科教諭	30人
C49	理科	理科を苦手とする教員のための小学校物理実験	小学校理科・物理分野に関する教科書に記載されている実験を実際に行いながら、実験を行う際の留意点・注意点を再確認し、その実験のもつ物理的理解を深める。具体的には、3学年「光と音の性質」「磁石の性質」「電気の通り道」、4学年「空気と水の性質」「金属、水、空気と温度」「電流の働き」、5学年「振り子の運動」「電流がつくる磁力」、6学年「てこの規則性」「電気の利用」の中から3・4単元を取り上げ、それらに関する内容を取り扱う。	山本 逸郎(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年8月21日	6時間	教諭	小学校教諭	16人
C13	音楽	音楽科の学習指導	「最初のオンガクを探る」をテーマとする。小・中・高音楽科のカリキュラム(創作を基盤とした歌唱、器楽、鑑賞へのアプローチ)について、サウンドスケープとサウンド・エデュケーションをキーワードとして具体的な授業実践例を提示するとともに、新学習指導要領に示された〈資質・能力の育成に関する3つの柱〉、〈協働〉及びActive Learning、音楽のUniversal Design(インクルーシブ教育も含む)についても考察する。本講習は音楽科教諭以外も対象とする。	今田 匡彦(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年7月17日	6時間	教諭	幼・小・中・高教諭、特別支援学校教諭	18人
C28	音楽	音楽科の学習指導	「最初のオンガクを探る」をテーマとする。小・中・高音楽科のカリキュラム(創作を基盤とした歌唱、器楽、鑑賞へのアプローチ)について、サウンドスケープとサウンド・エデュケーションをキーワードとして具体的な授業実践例を提示するとともに、新学習指導要領に示された〈資質・能力の育成に関する3つの柱〉、〈協働〉及びActive Learning、音楽のUniversal Design(インクルーシブ教育も含む)についても考察する。本講習は音楽科教諭以外も対象とする。	今田 匡彦(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年7月31日	6時間	教諭	幼・小・中・高教諭、特別支援学校教諭	18人
C45	音楽	創作に基づく音楽教育法	創作行為によって音楽の諸要素の働きを学んでいく活動を実際に行い、その指導法と理論的背景を学びます。また、学校教育における音楽科の諸問題を取り上げながら、歌唱、器楽、鑑賞と関連させた創作活動を中心とする統合的な学びの在り方についても学びます。全体的に体験を基にしながらその背景となる理念を学んでいきます。	清水 稔(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	令和3年8月20日	6時間	教諭	小・中・高等学校音楽科教諭	20人
C30	美術	さまざまな美術 ー美術鑑賞の現在ー	小学校図画工作および中学・高等学校美術における鑑賞の授業について考察する。日本や各国・地域、そして古代から現代までの美術作品のうち、それぞれの時代・地域に特有の作品をいくつか取り上げて、その表現的特徴について説明するとともに、図版等を用いた鑑賞の実践を行います。また、現代のさまざまな社会問題(感染症やジェンダーなどの観点を含む)に関連する作品を取り上げ、美術鑑賞と社会の関わりについて考えると同時に、視覚のみならず聴覚や触覚、嗅覚、味覚を協働させる鑑賞のあり方についても取り上げます。	出 佳奈子(教育研究院人文科学領域准教授)	弘前市	令和3年7月31日 ～8月1日	12時間	教諭	小学校教諭・中学校および高等学校美術教諭、幼稚園教諭	25人
C43	美術	ドラム缶からつくる旋律打楽器スティールパンの製作	バケツ大のドラム缶をハンマーで叩いて旋律打楽器スティールパンの小型版を製作します。また、スティールパンが生まれたカリブ海地域の文化を学ぶとともに本物のスティールパンの演奏も体験します。演奏に加えスティールパンの制作も行ふことから、音楽科教諭以外でも有益であると考えられるため受講対象とします。	富田 晃(教育研究院教育・芸術領域准教授)	弘前市	令和3年8月19日 ～8月20日	12時間	教諭	全教諭	12人
C17	体育	基本から学ぶ柔道	中学校、高校の正課体育柔道の指導力向上を目的に実習します。指導要領では基本動作とともに「攻防を展開すること」が技能の目標として示されていますが、現場の先生方には安全上の不安を抱かれているのではないのでしょうか。本講習では、「正しい技術が安全性を向上させる」という理念のもとに、指導者自身のスキルアップを図っていきます。また、講習の内容は正課体育担当者だけでなく部活動の指導者にも有益と思います。	高橋 俊哉(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年7月22日	6時間	教諭	全教諭 (主に保健体育教諭、部活動指導教諭)	25人
C20	体育	幼児を対象とした運動指導	前半は、幼児期の発達について理解を深めると共に、幼児の運動遊び指導に用いる効果的な指導方法及び補助方法について、理論と実践の両面から理解を深める。また、後半は、幼児期の発達を踏まえたボール遊び・ボール運動等を実践的に学ぶ。これらの活動を通して、幼児期運動指針でも取り上げられている多様な動きや洗練された動きの体験に結び付け指導方法についても理解を深める。	益川 満治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 杉本 和那美(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	令和3年7月27日	6時間	教諭	幼稚園・認定こども園教諭、小学校教諭 (主に低学年)	30人
C33	体育	ボールゲームの授業づくり	小学校(高学年)、中学校、高校の正課体育ボールゲームの指導力向上を目的に実習します。指導要領ではベースボール型・ゴール型・ネット型と別れて明記されていますが、各領域を網羅して指導することに不安や戸惑いを感じているのではないのでしょうか？本講習では、ボールゲームを「ボール移動ゲーム」と捉え、生徒・児童に主体的な学び及び深い学びを体感・実感させられる授業づくりの指導力向上を図っていきます。	益川 満治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	令和3年8月3日	6時間	教諭	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 (主に保健体育教諭)	30人
C42	看護	生活習慣と健康	近年の保健医療において重要課題である生活習慣病についてとりあげ教授します。また、学校生活や家庭生活におけるこどもの生活習慣や感染予防行動に関することを教授します。 ○生活習慣病と予防(漆坂) ○学校生活・家庭生活における生活習慣と感染予防(高橋) ○運動の効果(井瀧)	井瀧 千恵子(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 高橋 徹(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 漆坂 真弓(教育研究院医学系保健科学領域 准教授)	弘前市	令和3年8月18日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	30人
C44	看護	感染対策の基本	近年、さまざまな病原体やウイルスによる感染症が社会的な問題となっています。本講習では、学校危機管理の観点から、感染あるいは感染症対策として重要な基本的な知識、技術を取り上げます。感染とは、感染症とは、人間の感染防御機構、主な病原微生物に対する感染対策について、講義と実習を交えて理解を深めます。	藤田 あけみ(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 佐藤 真由美(教育研究院医学系保健科学領域 准教授) 工藤 ひろみ(教育研究院医学系保健科学領域 助教) 太田 一輝(教育研究院医学系保健科学領域 助教)	弘前市	令和3年8月19日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	36人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C46	看護	メンタルヘルスの理解	本講座では、対人関係におけるコミュニケーションとその過程に焦点をあてながら、心の健康に関する幅広い内容を演習を交えて教授する。 (1)人間の心の健康について、他者と自己の2つの視点から考察することによって、他者理解と自己洞察を深め、メンタルヘルスの理解を目指す。(則包) (2)思春期から高齢期までのメンタルヘルスを脅かす現状を概観し、当事者とサポート側の双方のメンタルヘルスの理解を目指す。(田中)	則包 和也(教育研究院医学系保健科学領域 准教授) 田中 真(教育研究院医学系保健科学領域 助教)	弘前市	令和3年8月20日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	40人
C47	看護	食べものと放射線	福島第一原子力発電所の事故後、懸念されている食品中の放射性物質に関する正しい知識を学び、「食の安全」をわかりやすく情報発信できるようになることを目的とします。放射線・放射性物質や人体影響についての基礎知識、食品中の放射性物質に関する講義に加え、簡単な計算演習等の実習を通じて、リスクコミュニケーション能力の向上を図ります。	小山内 暢(教育研究院医学系保健科学領域 助教) 対馬 恵(教育研究院医学系保健科学領域 講師) 土屋 涼子(教育研究院医学系保健科学領域 助教)	弘前市	令和3年8月20日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	20人
C48	看護	放射線の基礎と放射線看護	身の回りの放射線等の放射線に関する基礎や放射線事故・災害、その際の看護活動、医療に使われる放射線、放射線看護について学びます。 ○放射線の基礎(細川) ○放射線事故・災害時の看護活動(野戸) ○放射線治療の日常生活への影響(小倉)	細川 洋一郎(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 野戸 結花(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 小倉 能理子(教育研究院医学系保健科学領域 教授)	弘前市	令和3年8月20日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	40人
C52	看護	子どもの急変時の対応	本講習では、学校安全や危機管理の立場から、子どもの身体の状態観察時の基本、子どもや教職員の救急場面における緊急性の判断や初期対応、救急処置について取り上げます。さらに、緊急時の対応について、講義と実習(シミュレーション教育など)を交えて理解を深めます。	藤田 あけみ(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 會津 柱子(教育研究院医学系保健科学領域 講師) 山崎 千鶴(弘前医療福祉大学 保健学部看護学科 助教) 土屋 涼子(教育研究院医学系保健科学領域 助教) 太田 一輝(教育研究院医学系保健科学領域 助教)	弘前市	令和3年8月23日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	36人
C14	技術・工業・農業	小学校プログラミング教育入門	プログラミングについて全くの初心者の方に向けて、プログラミング教育実施の背景と意義、プログラミング的思考の意味などについて講義を通して理解を深めます。また、実践事例の紹介と複数の小学生向けプログラミングツール(教材)の体験実習・演習を通してプログラミングの基礎的な知識・技能を習得します。講習の最後に、演習で使用する教材を使った実践案を構想し、発表していただきます。	上之園 哲也(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年7月17日	6時間	教諭	小学校教諭・ 特別支援学校教諭	12人
C24	技術・工業・農業	技術教育における問題解決的な学習	技術教育における問題解決的な学習の理論と技術的問題解決を促すための生徒へのアプローチや題材設定の在り方についての講義を基礎に、実践事例の検討とプログラムによる計測制御に関する課題実習を行う。また、基礎理論と課題実習の体験を踏まえ、受講者自身の実践を振り返り、講習の成果と課題をまとめ、発表する。	上之園 哲也(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年7月30日	6時間	教諭	中学校 技術科担当教諭 (免許外担当者も含む)	6人
C26	技術・工業・農業	マイコンで学ぶ計測と制御	マイコン(Arduino)を使用してデータの入出力の実験を行います。いろいろなセンサ(光、音、温度、放射線など)からの信号を処理・表示できます。単純な直流モータからサーボモータまでの制御もできます。これら(計測と制御)を組みあわせればメカトロニクスシステムが作れます。実際の移動ロボットシステム等について最近の研究成果を紹介し、発表する。	竹田 年延(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 助教) 長井 力(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 助教)	弘前市	令和3年7月31日	6時間	教諭	工業高校教諭および 中学校、高等学校の 理科及び技術の教諭	10人
C29	技術・工業・農業	幼稚園における栽培活動と藍染め	学校園(=校内に設置された農園や花園)での栽培活動は、園児にとって土に触れることのできる貴重な機会であり、そこから学べるものは多い(領域「環境」)。本講習では、学校園での栽培活動に必要な土壌改良(講義と実演)、クリアカップなどをを用いた容器栽培(実習)、アイの栽培と火や薬品を使わない藍染め(実習)を紹介する。屋外作業も可能な服装・靴、作業手袋、持ち帰り袋を持参。	勝川 健三(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年7月31日	6時間	教諭	幼稚園教諭、 特別支援学校教諭	10人
C35	技術・工業・農業	小学校教員のためのプログラミング入門	本講習では、プログラミングに関する学習経験の無い教員および学習経験の少ない教員を対象として、プログラミングとはどのような行為か、プログラムによってどのようなことができるのかといったプログラミングの基礎について、教育用のプログラミング言語を用いて体験的に学習する。	櫻田 安志(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年8月6日	6時間	教諭	小学校教諭、 特別支援学校教諭	8人
C36	技術・工業・農業	小学校教員のためのプログラミング入門	本講習では、プログラミングに関する学習経験の無い教員および学習経験の少ない教員を対象として、プログラミングとはどのような行為か、プログラムによってどのようなことができるのかといったプログラミングの基礎について、教育用のプログラミング言語を用いて体験的に学習する。	櫻田 安志(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	むつ市	令和3年8月8日	6時間	教諭	小学校教諭、 特別支援学校教諭	8人
C53	技術・工業・農業	人と関わるメカトロニクス技術	計測制御技術は、産業界の他、医療分野でも実用化されていますが、そこには数学物理学を基礎とした機械工学や電子情報工学のほか、人間の特性を扱う解剖学や心理学など、多様な分野の知識が必要とされます。本講習では、それらの知識を融合して研究開発された自動採血ロボットや慣性センサ式モーションキャプチャシステムなどについて、数学や物理の知識と関連づけて研究内容を解説します。	佐川 貢一(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 教授)	弘前市	令和3年8月23日	6時間	教諭	中学校・高等学校 数学・理科・ 技術家庭教諭、 工業高校教諭	10人
C15	家庭	社会の変化に対応する家庭科の授業づくり	本講習では、社会の変化に対応する家庭科の学習指導に資することを目的としています。家庭生活の変容および家庭科学習の現状について把握するとともに、各学習領域の基礎的・基本的な知識・技能について講義・実験・実習を行い、今後の教材研究や授業づくりに活用することができるようになります。受講者の実践上の課題に対応できるようにし、各校種における学習指導のさらなる充実を図ります。	李 秀真(教育研究院人文社会・教育学系社会科学領域 准教授) 北原 啓司(教育研究院地域イノベーション学系戦略的融合領域 教授) 安川 あけみ(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 加賀 恵子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年7月17日 ～7月18日	12時間	教諭	小学校教諭、 中・高等学校教諭 (家庭科)	20人
C11	英語	英語における動詞の種類	言語を科学的に分析する生成文法研究の理論的知見に基づき、英語における自動詞と他動詞をさらに細分化し、それらを伴う文の解釈や構造を考察することで、それらの使用法についての理解を深める。	近藤 亮一(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	令和3年7月10日	6時間	教諭	中学校・ 高等学校英語科教諭	20人
C50	英語	英語読解問題を考える	近年、「英語で英語を理解する」必要性がしばしば言われるなか、一昔前までは訳読が中心であった英語長文読解問題のあり方についても見直しがなされつつあります。本講習では、大学入試にも取り入れられることの多い英語外部試験の問題形式なども参考としながら、授業においてどのような英語読解問題が有効なのかについて、受講者の皆さんとともに主にワークショップ形式で考えていきます。	堀 智弘(教育研究院人文社会・教育学系人文科学領域 准教授)	弘前市	令和3年8月21日	6時間	教諭	中学校・ 高等学校英語科教諭	28人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C51	英語	授業に生かす英語教育学	様々な指導法や学習活動が提案され続ける英語授業について、①歴史的な流れを振り返る。②それぞれのねらいと長所や短所を考察する。③演習として実際に授業を組み立ててみる。以上の3つのことを通して考察します。また、技能統合やアクティブラーニングについて、参加者全体でのディスカッションを通して理解を深めます。	佐藤 剛(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年8月21日	6時間	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	30人
C01	養護教諭	養護教諭実践の再確認とこれから(A)	学校全体で子ども達や教職員の様々な健康・安全上の問題を解決するために、専門職としての養護教諭に求められる以下のようなテーマを取り上げます。 1. 学校における感染症対策・学校における感染症対策及び感染症予防対策について学び、児童生徒の感染症予防に関する実践能力育成について考えます。 2. 疾患を有する児童生徒の管理と支援:学校で気をつけて欲しい児童生徒の病気について考えます。 ※本講習はオンデマンド型となります。	葛西 敦子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 田中 完(教育研究院臨床医学領域 教授)	オンデマンド	令和3年7月5日 ～8月31日	6時間	教諭 養護教諭	養護教諭・養護教諭と教諭の両方の免許を有する教諭	30人
C02	養護教諭	養護教諭実践の再確認とこれから(B)	学校全体で児童生徒らの様々な健康・安全上の問題を解決するため、専門職としての養護教諭に求められる以下のようなテーマを取り上げます。 1. 現代的健康課題を抱える子供たちへの支援事例を通して、養護教諭の健康相談における新しい視座を学びます。 2. 学習指導要領改訂や現代の教育課題を踏まえ、生涯にわたる健康のための健康教育について考えます。 ※本講習はオンデマンド型となります。	新谷 ますみ(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 原 郁水(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 小林 央美(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	オンデマンド	令和3年7月5日 ～8月31日	6時間	教諭 養護教諭	養護教諭・養護教諭と教諭の両方の免許を有する教諭	30人
C12	幼児教育	特別な支援を要する幼児の保育	本時においては、特別な支援を要する幼児の保育について、なかでも、支援者の資質、“燃え尽き”や保育環境設定の観点から、それぞれ諸議論を紹介するとともにそれらをふまえた事例検討を行って、今後の保育支援につながる示唆を得ようとするものである。保育・幼児期の教育をテーマにする関係上、主な受講対象者は乳幼児の保育に直接関係する者(幼保連携型認定こども園保育教諭や幼稚園教諭、特別支援学校幼稚部など)に合わせた内容とする。	増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 松浦 淳(青森中央短期大学 准教授)	弘前市	令和3年7月10日	6時間	教諭	保育教諭、幼稚園教諭	80人
C41	幼児教育	乳幼児保育の現在と課題	本講習では、乳幼児保育の現状と課題についての講義(一部演習含む)を行う。なかでも、“気になる”子どもをめぐる保育や、幼小連携・接続をはじめとする保育の歴史・制度的課題、マネジメント、施設管理の視点を主に扱い、今後の保育・幼児期の教育の展望を考察する。保育・幼児期の教育をテーマにする関係上、主な受講対象者として幼保連携型認定こども園保育教諭や幼稚園教諭(特別支援学校幼稚部を含む)等、保育・幼児期の教育に直接関係する者を念頭におく。	増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 武内 裕明(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年8月17日	6時間	教諭	保育教諭、幼稚園教諭	50人
C21	栄養	家族で楽しむ健康食づくり～免疫力を高める週間メニュー～	昨年度から1年間新型コロナウイルス感染症による影響で改めて家庭での食事づくりについて関心が高まっています。コロナに負けない健康な体を作るためには、栄養バランスのとれた食事と免疫力をあげる抗酸化作用のある食材を取り入れることが大切です。また時間栄養学を取り入れて朝食、昼食、夕食の効果的な食べ方が必要です。忙しい毎日の生活の中で簡単に美味しく、家族が楽しめる食事づくりからの食育を提案します。	妹尾 良子(柴田学園大学 家政学部 教授) 花田 玲子(柴田学園大学 家政学部 助教)	弘前市	令和3年7月27日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	栄養教諭、養護教諭、小・中・高等学校教諭	30人
C22	栄養	体づくりの栄養と生活習慣病予防の食育	子どもがすこやかに成長し、病気にならないためにはいつ、何を、どのように食べるとよいか講義を行う。スポーツ栄養の基礎にもふれ、生涯にわたる生活習慣病予防のために、子どもの体づくりと栄養をどのように考えるとよいか講義を行う。また、栄養教諭による肥満やスポーツ栄養等の個別的な相談指導にもふれる。	今村 麻里子(柴田学園大学 家政学部 准教授) 前田 朝美(柴田学園大学 家政学部 准教授)	弘前市	令和3年7月28日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	栄養教諭、養護教諭、小・中・高等学校教諭	30人
C32	特別支援	特別支援学校等における指導の実際	本時では、特別支援学校における実践・教諭の授業力向上を企図している。具体的には、主として弘前大学教育学部附属特別支援学校で取り組んでいる研究及び事業(スポーツ推進、キャリア・就労支援)等を取り上げながら、現在特別支援学校に求められている実践的課題について考察する。	天海 丈久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 棚内 伸子(教育学部非常勤講師) 加賀谷 紀(教育学部非常勤講師) 中嶋 美樹(教育学部非常勤講師) 岡田 一也(教育学部非常勤講師) 鳴海 愛子(教育学部非常勤講師)	弘前市	令和3年8月2日	6時間	教諭 養護教諭	特別支援学校の教諭・養護教諭	30人
C40	特別支援	特別支援学校における重複障害の子供の教育課程	特別支援学校における重複障害の子供の教育課程のうち、「特別支援学校(知的障害)教科代替の教育課程」と「自立活動を主とした教育課程」について、新しい特別支援学校小学部・中学部学習指導要領等を参照・解説しながら、児童生徒の障害の状況や発達の段階に即した教育課程編成の在り方を考察します。またその際、教育課程編成の要となる自立活動の教育課程上の位置づけについても言及します。	天海 丈久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和3年8月17日	6時間	教諭 養護教諭	特別支援学校の教諭・養護教諭	30人
C39	その他(総合教育)	演劇的手法を活用した授業づくり	演劇的手法は、身体を動かし、協同の作業や話し合いを通して、架空の世界を生み出し、学習を促進する方法である。本講義においては、クラスの集団づくりに役立つアイスブレイク、国語や道徳におけるロールプレイ等、リサーチと組み合わせながら全身を使ったプレゼンテーションなどの演劇的手法の運用と理論、日本での実践の蓄積を実際の活動を通して学ぶ。本講習は小学校・中学校・高等学校全科目の教諭を対象とする。	宮崎 充治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年8月10日	6時間	教諭	小・中・高等学校教諭	30人